

平成 28 年 2 月 23 日

各 位

四国紙パルプ研究協議会
(公社)愛媛県紙パルプ工業会

講演会開催のご案内

拝啓 春寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、四国紙パルプ研究協議会の平成 27 年度第 2 回講演会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。 敬 具

記

開催日時 平成 28 年 3 月 11 日 (金) 14:00～16:05
開催場所 高知県立紙産業技術センター 2 階研修室
吾川郡いの町波川 287-4 TEL 088-892-2220

演題要旨

『TEMPO 酸化セルロース/セルロースナノファイバー研究とバリア材開発』 14:05～15:05(60)

凸版印刷(株) 事業開発・研究本部 事業開発センター 第二企画部 加藤友美子 氏

紙の構成物質であるセルロースは、強固な構造であることから、通常、改質には煩雑な処理や高いエネルギーを必要とする。一方、水系かつ温和な条件の下、高い選択性で反応が進行する TEMPO 酸化は、簡単な装置で制御しやすいという特徴から、手軽なセルロースの改質方法として知られている。セルロースナノファイバーの製造においても飛躍的に省エネルギー化を達成することができる。東京大学磯貝教授とともにセルロースの TEMPO 酸化の基本処方を構築した研究と、TEMPO 酸化セルロースやセルロースナノファイバーを用いたバリア材について紹介する。

(休憩 10 分間/時間調整)

『各種パルプから製造したセルロースナノファイバーとその用途開発事例』 15:15～16:00(45)

大王製紙(株) 技術開発部 新規事業グループ 課長代理 大川 淳也 氏

セルロースナノファイバー (CNF) は、軽量、高強度・高弾性、低線熱膨張、耐熱性、透明性、ガスバリア性など、パルプとは異なるさまざまな特異的性質を有することから、非常に関心度の高いバイオ系次世代先端素材である。当社も平成 25 年 12 月より CNF のサンプル提供を行っており、発表では当社 CNF の特徴について紹介する。また、用途開発事例として、樹脂補強用 CNF の開発、ならびにガスバリア紙の開発事例についても紹介する。

参加費 無 料

申込先 四国紙パルプ研究協議会事務局

〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1

TEL 0896-58-2055 FAX 0896-58-6240

E-mail info@e-kami.or.jp

申込方法 平成 28 年 3 月 7 日 (月) 迄に下記申込書をファクスにて送信ください。

四国紙パルプ研究協議会事務局行 FAX: 0896-58-6240

平成 27 年度 第 2 回講演会参加申込書

事業所名	TEL 番号	
	FAX 番号	
参加者氏名		所属・役職